

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Phosphate Bio HT  
製品番号 : 06990088001

## 供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区芝2-6-1  
1050014

電話番号 : 03-5443-5128  
FAX番号 : 03-5443-5299  
担当部門 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門 クオリティーマネジメント部

緊急連絡電話番号:  
緊急連絡先: : カスタマーサポートセンター  
0120-600-152

## 推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。

担当部署 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門  
クオリティーマネジメント部

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の情報は組成及び成分情報を参照ください。

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H290 金属腐食のおそれ。  
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。  
H332 吸入すると有害。  
H371 臓器（呼吸器系）の障害を引き起こすおそれ。  
H373 長期にわたる、または反復暴露による臓器（呼吸器系）の障害のおそれ。

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

## 注意書き

## : 安全対策:

- P234 他の容器に移し替えないこと。  
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 P264 取り扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## : 応急措置:

- P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P309 + P311 暴露したとき、又は気分が悪いとき：医師に連絡すること。  
 P310 直ちに医師に連絡すること。  
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 P390 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

## : 保管:

- P405 施錠して保管すること。  
 P406 腐食に強い/腐食に強い内張りのあるステンレス容器に保存する。

## : 廃棄:

- P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

*R1*

## GHS分類

- 金属腐食性物質 : 区分1  
 急性毒性 (吸入) : 区分4  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分1A  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 区分2 (呼吸器系)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 区分2 (呼吸器系)

## 危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
硫酸	7664-93-9	>= 1 - < 10	1-430

*R2*

## GHS分類

金属腐食性物質 : 区分1

急性毒性 (吸入) : 区分4

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分1A

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 区分2 (呼吸器系)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 区分2 (呼吸器系)

## 危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号
硫酸	7664-93-9	>= 1 - < 10	1-430
Ammonium molybdate tetrahydrate	12054-85-2	>= 0.1 - < 1	1-389

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
医師に相談する。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚腐食による傷口を直ちに処置しないと、治癒が遅く傷が残るので、直ちに医療処置が必要。

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

- 皮膚に付いた場合水で十分にすすぐ。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。  
眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。  
病院に運ぶ途中、眼を洗浄し続けます。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。  
気道を確保する。  
無理に吐かせないこと。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
直ちに被災者を病院に連れて行く。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉塵を吸い込まない。  
皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。  
リークまたはこぼれた物質の拡散を防ぐため、適切な液体保持のシステムを用意する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や終業時には手を洗う。

## 保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
ラベルの予防措置を遵守する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## R1

## 成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	基準
硫酸	7664-93-9	OEL-C	1 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会
詳細情報: 検討中				
		TWA (Thoracic fraction)	0.2 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH
		TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	NIOSH REL

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

		TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	OSHA Z-1
		TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	OSHA P0

**R2**

## 成分別作業環境管理濃度/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	基準
硫酸	7664-93-9	OEL-C	1 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会
詳細情報: 検討中				
		TWA (Thoracic fraction)	0.2 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH
		TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	NIOSH REL
		TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	OSHA Z-1
		TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	OSHA P0
Ammonium molybdate tetrahydrate	12054-85-2	TWA	5 mg/m <sup>3</sup> (Molybdenum)	OSHA Z-1
		TWA (Respirable fraction)	0.5 mg/m <sup>3</sup> (Molybdenum)	ACGIH
		TWA	5 mg/m <sup>3</sup> (Molybdenum)	OSHA P0

**保護具**

## 手の保護具

品名 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。

## 眼の保護具

: 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル  
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

## 皮膚及び身体の保護具

: 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

## 9. 物理的及び化学的性質

**R1**

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

外観	: 液体
pH	: < 2
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火せず
燃焼性 (固体、気体)	: この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
比重	: 1.0222 g/cm <sup>3</sup>
溶解度 水溶性	: 完全に混和性である
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

**R2**

外観	: 液体
pH	: < 2
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 引火せず
燃焼性 (固体、気体)	: この製品はGHS分類の可燃性ではない。
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
比重	: 1.0314 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
溶解度 水溶性	: 完全に混和性である
自然発火温度	: データなし

**Phosphate Bio HT**

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

分解温度 : データなし  
酸化特性 : この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

**10. 安定性及び反応性**

反応性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。  
化学的安定性 : 通常の状態では安定。  
危険有害反応可能性 : 指示通り保管/適用すれば分解しない。  
避けるべき条件 : データなし  
混触危険物質 : データなし  
危険有害な分解生成物 : データなし

**11. 有害性情報*****R1*****急性毒性**

吸入すると有害。

**製品:**

急性吸入毒性 : 急性毒性の推定 : 14.6 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 計算による方法

**成分:****硫酸:**

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 2,140 mg/kg  
急性吸入毒性 : LC50 (ラット): 0.51 mg/l  
曝露時間: 2 h  
LC50 (マウス): 0.32 mg/l  
曝露時間: 2 h

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

重度の火傷を起します。

**製品:**

備考: 組織を極度に腐食し破壊する。

**成分:**

**Phosphate Bio HT**

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

**硫酸:**

備考: 組織を極度に腐食し破壊する。

**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**

重篤な眼の損傷。

**製品:**

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**成分:****硫酸:**

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

**成分:****硫酸:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験

結果: -

備考: In vitro試験で、突然変異誘発性が示されなかった

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

**特定標的臓器毒性, 単回ばく露**

臓器 (呼吸器系) の障害を引き起こすおそれ。

**成分:****硫酸:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単一暴露) としては未分類。

**特定標的臓器毒性, 反復ばく露**

長期にわたる、または反復暴露による臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ。

**成分:****硫酸:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (反復暴露) としては未分類。

**吸引性呼吸器有害性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

成分:**硫酸:**

吸引毒性に分類無し

**R2****急性毒性**

吸入すると有害。

**製品:**

急性吸入毒性 : 急性毒性の推定 : 14.65 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 計算による方法

成分:**硫酸:**

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 2,140 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 (ラット): 0.51 mg/l  
曝露時間: 2 hLC50 (マウス): 0.32 mg/l  
曝露時間: 2 h**Ammonium molybdate tetrahydrate:**

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 333 mg/kg

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

重度の火傷を起します。

**製品:**

備考: 組織を極度に腐食し破壊する。

成分:**硫酸:**

備考: 組織を極度に腐食し破壊する。

**Ammonium molybdate tetrahydrate:**

結果: 皮膚に刺激性。

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**

重篤な眼の損傷。

**製品:**

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

成分:**硫酸:**

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**Ammonium molybdate tetrahydrate:**

結果: 眼に刺激性。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り未分類。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

成分:**硫酸:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験

結果: -

備考: In vitro試験で、突然変異誘発性が示されなかった

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

**特定標的臓器毒性, 単回ばく露**

臓器 (呼吸器系) の障害を引き起こすおそれ。

成分:**硫酸:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単一暴露) としては未分類。

**Ammonium molybdate tetrahydrate:**

暴露の主経路: 吸入

標的臓器: 呼吸器系

アセスメント: 呼吸器への刺激のおそれ。

**特定標的臓器毒性, 反復ばく露**

長期にわたる、または反復暴露による臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ。

成分:**硫酸:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (反復暴露) としては未分類。

**Ammonium molybdate tetrahydrate:**

アセスメント: 物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (反復暴露) としては未分類。

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

**吸引性呼吸器有害性**

利用可能な情報に基づく限り未分類。

**成分:****硫酸:**

吸引毒性に分類無し

**Ammonium molybdate tetrahydrate:**

データなし

**12. 環境影響情報*****R1*****生態毒性****製品:**

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**成分:****硫酸:**魚毒性 : LC50 (レポミスマクロチルス (ブルージルマンボウ)): 25 mg/l  
曝露時間: 24 hLC50 (ガムブスィアアフィニス (カダヤシ)): 42 mg/l  
曝露時間: 96 hLC0 (魚): 6.3 mg/l  
曝露時間: 24 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (ダフニアマグナ (ミジンコ)): 29 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 24 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

**他の有害影響**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**R2****生態毒性****製品:**

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**成分:****硫酸:**魚毒性 : LC50 (レポミスマクロチルス (ブルージルマンボウ)): 25 mg/l  
曝露時間: 24 hLC50 (ガムブスィアアフィニス (カダヤシ)): 42 mg/l  
曝露時間: 96 hLC0 (魚): 6.3 mg/l  
曝露時間: 24 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (ダフニアマグナ (ミジンコ)): 29 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 24 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**Ammonium molybdate tetrahydrate:**魚毒性 : LC50 (オンコーヒンチュスミクス (ニジマス)): 460 mg/l  
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (ダフニアマグナ (ミジンコ)): 140 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h藻類に対する毒性 : EC50 (デスマデスムス・スプスピカトウス (緑藻)): 41 mg/l  
曝露時間: 72 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 (急性有害性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 (長期間有害性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

**Phosphate Bio HT**

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

**他の有害影響****成分:****Ammonium molybdate tetrahydrate:**

吸収された有機結合ハロゲン : 備考: 非該当 (AOX)

生態系に関する追加情報 : データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。認可された廃棄物処理業者へ委託する。現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする。製品入り容器と同様に処分する。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。空の容器を再使用しない。

**14. 輸送上の注意****国際規制****IATA**

国連番号 : 2796

国連番号 : 硫酸

国連分類 : 8

容器等級 : II

ラベル : 8

梱包指示 (貨物機) : 855

**Phosphate Bio HT**

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

梱包指示（旅客機） : 855  
パッキングの指示（LQ） : Y840  
環境有害性 : 非該当

**IMDG**

国連番号 : 2796  
国連輸送名 : 硫酸  
国連分類 : 8  
容器等級 : II  
ラベル : 8  
F-EmS : F-A  
S-EmS : S-B

海洋汚染物質（該当・非該当） : 非該当

**MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物資（該当・非該当）**

特別の安全対策

データなし

**国内法規制**

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

**15. 適用法令****R1****関連法規****消防法**

非該当

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	濃度又は濃度範囲 (%)
硫酸	613	>=1 - <10

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条（施行令第18条）

化学名	番号
硫酸	613

特定化学物質障害予防規則 - 第三類物質

化学名
硫酸

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2, 3条危険物告示別表第1: 腐しよく性物質

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: 腐食性物質

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質としては未分類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

**R2**

関連法規

消防法

## Phosphate Bio HT

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

非該当

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	濃度又は濃度範囲 (%)
硫酸	613	>=1 - <10

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

法第57条（施行令第18条）

化学名	番号
硫酸	613

**特定化学物質障害予防規則 - 第三類物質**

化学名
硫酸

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**Phosphate Bio HT**

版番号 1.6

改訂日 2016/06/01

発行日 2016/06/01

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危規則第2,3条危険物告示別表第1: 腐しよく性物質

**航空法**

施行規則第194条危険物告示別表第1: 腐食性物質

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質に該当しない

個品輸送

: 海洋汚染物質としては未分類

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**16. その他の情報**

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。